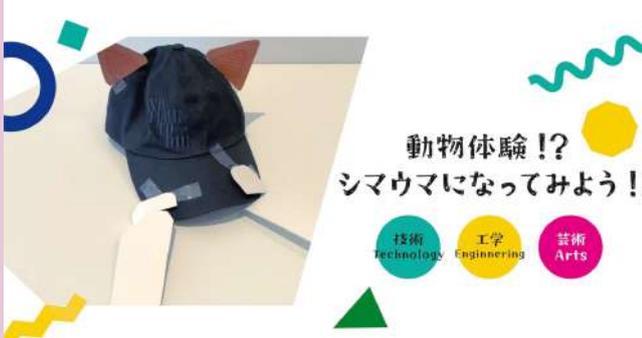


子どもたちはこんなことを学びました!



今回体験したアクティビティ



🕒 所要時間	📁 カテゴリー	❤️ 身につくスキル	★ 難易度
約 30 分	<ul style="list-style-type: none"> T 技術 -Technology- E 工学 -Engineering- A 芸術 -Arts- 	<ul style="list-style-type: none"> 想像力 観察力 空間把握力 	2 ★ ★ ☆



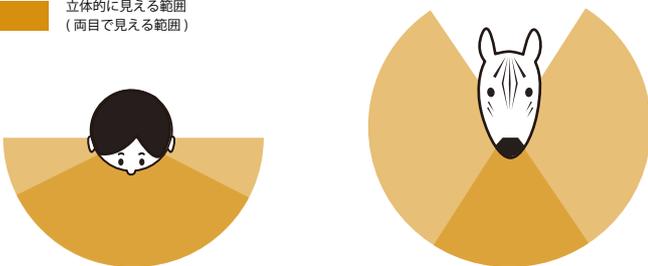
動物体験!? シマウマになってみよう!

帽子やミラーシートなどを使って、人間と動物の目や耳の位置、大きさの違いについて考えるアクティビティです。自分たちと動物の目や耳の位置を比較し、擬似的な動物体験を行います。人間と動物の見える範囲の違いを学び、他の動物たちの生態系についても考えていきましょう。

❓ どうしてこうなるの?

人間と動物の目や耳の大きさや位置の違いは、それぞれの生活環境や生態に適応するための結果です。例えば、獲物を見つけたり敵を察知するために、狩りをする動物は広い視野と高い耳を持つことが多いです。一方、人間は物をつかんだり精密な作業を行うために前方に目を持ち、コミュニケーションのために耳が側面に位置していると考えられています。

- 視野の広さ
- 立体的に見える範囲 (両目で見える範囲)



📌 実際に社会で使用されているもの

人間と動物の感覚系の機能の違いは、日常生活に様々な影響を与えています。例えば、猫や犬などの動物は、優れた聴覚を持っており、遠くの音や動きを感知する能力が高く、役立ちます。

一方、人間は色覚や立体視などの視覚機能が発達しており、美術やデザイン、運転などの日常生活において重要な役割を果たしています。

【監修協力：昭和女子大学人間社会学部初等教育学科教授 白數哲久氏】